

# 第10回愛媛クリニカルパス研究会

## クリニカルパスの電子化 ーその問題点と工夫ー

平成25年8月3日（土） 12:00～17:00

会場：ひめぎんホール（真珠の間）

松山市道後町2-5-1

第10回当番世話人

西条中央病院

相澤 淳一

小野 仁志

## ご挨拶

第10回愛媛クリニカルパス研究会は、西条中央病院が担当させていただきます。会場は、昨年度に引き続き、松山市ひめぎんホールにて開催することとなりました。今回も多数の演題を応募していただき、誠にありがとうございました。

平成15年12月5日の第1回愛媛クリニカルパス研究会の開催から10年が経ちまして、今回は、記念すべき第10回目の大会となります。ポスター発表は、8施設12演題です。それぞれの施設より、特徴のあるパスを出していただいております。

現在、愛媛県内において、大病院だけでなく、中小病院へも徐々に電子カルテの導入が、おこなわれております。先進的な病院では、電子カルテの更新やベンダー変更が行われており、その際にクリニカルパスの電子化が課題のひとつとなります。そこで、今回のテーマを『クリニカルパスの電子化 ―その問題点と工夫―』とさせていただきます。一般演題は、5題であり、クリニカルパスの電子化や今後の電子化に向けての演題が4題、地域連携に関する演題が1題となっております。また、シンポジウムにつきましては、3施設のクリニカルパスの電子化に関する現状・問題点・工夫などを発表していただきます。また、四国がんセンターの河村進先生に特別発言としてミニレクチャー『電子パスはセカンドステージに突入！』をお願いしております。

特別講演は、国保旭中央病院 神経内科 主任部長 松永 高志先生にお願いしました。松永先生は、国保旭中央病院 TQM センター長も兼任されており、日本クリニカルパス学会やその教育セミナーにおきましても、『院内に広げるパス活動』『クリニカルパス作成パス』など新しい観点から発表・講演をされております。

今回は、『電子カルテと電子クリニカルパス ―導入・運用・改訂の問題点と対策―』の演題でご講演いただきます。

クリニカルパス研究会にご参加いただき、各施設でのパスの運用がより活発となり、パスの電子化を行っている施設やこれから行おうとしている施設において、少しでもお役に立てればと思っております。本研究会が実り多い会になりますように、活発な討論をよろしく願いいたします。

西条中央病院 副院長 小野仁志

# 第10回愛媛クリニカルパス研究会

日時：平成25年8月3日(土) 12:00~17:00

場所：ひめぎんホール(真珠の間) 松山市道後町2-5-1 TEL:089-923-5111

テーマ：「クリニカルパスの電子化 -その問題点と工夫-」

会費：1000円

12:00-12:50 ポスターセッション ※ポスター展示時間 12:00~17:00 2F 真珠の間ロビーにて

12:50-13:00 「経口抗がん剤TS-1 有核OD錠に関する情報提供」 大鵬薬品工業株式会社 西川浩生

13:00-13:05 開会挨拶 西条中央病院 副院長 小野仁志

13:05-13:55 【Ⅰ.一般演題】

座長：西条中央病院 相澤淳一 森賀千夏

- ① 当院における膝疾患に対するクリニカルパスの使用状況と電子カルテ化に向けて 松山市民病院 森本麻里
- ② 当院における電子パスの現状と今後の課題 十全総合病院 宮原常子、酒井 由起子、八木 やよい
- ③ 気管支ファイバー検査パスを電子化して 松山赤十字病院 兼松貴則、横山秀樹、宮崎さやか、広瀬純子
- ④ 当院における小児科パスの電子化導入の取り組み 西条中央病院 中山亜里美
- ⑤ 当院における愛媛脳卒中地域連携パスの運用の実際 愛媛大学医学部附属病院 井上美紀、上原雅代

13:55-14:10 ー休憩ー

14:10-15:15 【Ⅱ.シンポジウム】『クリニカルパスの電子化 -その問題点と工夫-』

座長：四国がんセンター 河村 進 西条中央病院 小野仁志

- ① クリニカルパスの電子化に向けた取り組みと今後の課題 松山赤十字病院 徳岡梨沙、横山幹文、本田直利、井伊貴子
- ② 当院が電子カルテを導入するも電子パスを諦めた理由 済生会西条病院 秋山直美、石井博
- ③ 当院の電子パス移行経験～それでもボクらは電子化する～

西条中央病院 相澤淳一

【特別発言】

『電子パスはセカンドステージに突入！』 四国がんセンター 形成外科部長 河村 進

15:15-15:20 事務局報告および次回世話人挨拶

15:20-15:30 ー休憩ー

15:30-16:30 【Ⅲ.特別講演】

座長：西条中央病院 副院長 小野仁志

『電子カルテと電子クリニカルパス ー導入・運用・改定の問題点と対策ー』

総合病院国保旭中央病院 神経内科 主任部長 松永 高志 先生

16:30-16:40 閉会の挨拶 西条中央病院 相澤淳一

## ポスター展示 12:00~17:00

- ① 乳房切除術クリニカルパス～チーム医療と倫理的介入パス  
住友別子病院 村上知美
- ② ヘルニアパスの現状と電子化にむけての課題  
松山市民病院 隅田美里、関谷渚
- ③ 愛媛県がん地域連携クリティカルパス事務局機能の効果  
四国がんセンター 松崎清美、船田千秋、河村進
- ④ 膀胱腫瘍切除術パスの現状把握と課題  
四国がんセンター 高橋美江、阪本記美香、清水佐紀美、福島美栄、橋根勝義
- ⑤ ゼヴァリン療法  
四国がんセンター 田中菜津美、米井彩子、中矢留衣、吉田功
- ⑥ ERCP(内視鏡的膵・胆管造影)  
済生会西条病院 曾我部都、行本誠、二宮鯉江子
- ⑦ 心臓カテーテル検査及び治療クリニカルパスの電子化への取り組み  
済生会松山病院 中里衣里、藤原恵奈
- ⑧ 入院期間に応じた生物学的製剤投与クリニカルパス ―アクテムラ・クリニカルパスの実際―  
道後温泉病院 寺久保尚史
- ⑨ シャントPTAパスの現状と電子カルテにおける課題  
西条中央病院 田中亜由美、宮崎詩織、森賀千夏
- ⑩ 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)クリニカルパス  
西条中央病院 弓山寿恵、村上笑子、永井千春
- ⑪ 幽門側胃切除パス  
愛媛県立新居浜病院 日野真理子、宮川明美
- ⑫ 地域連携パスにおける他施設間の情報共有システムの有効性について  
松山市民病院 三谷直紀

## 発表者の皆様へ

### ■発表データのお持ち込みについて（一般演題・シンポジウム）

#### 【映写スライド】

スライドはPowerPointにて作成、ご発表下さい。プロジェクター、PC（Windows.MicrosoftOffice2010）は会場に用意しております。USBなどのデータでお持ち下さい。Macでの作成はデータの互換性にご注意下さい。ご自身のPCで発表される場合はプロジェクターとの接続についてご注意下さい。会場のプロジェクターは15ピンの接続になります。接続のコネクターが必要な場合はご持参下さい。音声、動画のご使用につきましては事前にお申し出下さい。

#### 【当日】

ご発表される方は受付にてお申し付け下さい。受付にて発表スライドの確認をさせていただきます。

### ■一般演題に・シンポジウムについて

#### 【発表時間】

一般演題：発表8分、質疑2分を予定しております。

シンポジウム：発表10分を予定しております。

ご了承のほど、お願い申し上げます。

### ■パス展示（ポスターセッションについて）

【時間】12:00～16:00（セッション12:00～12:50）

【場所】ひめぎんホール「真珠の間」前

【方法】施設担当者（1～2名）は展示後セッション時間内に、パネルの前で待機して頂き、質疑応答をお願い致します。

【用紙サイズ】パスはA3サイズ横書きで4枚のエリアにまとめて下さい。

上記とは別に上段に、施設名・氏名の表示をお願いします。原稿は各施設でご準備頂き、展示・撤去をお願いします。今回は、A3サイズ4枚の下方であれば、パネル（90cm×160cm）に貼れる範囲で展示することが可能です。

No	施設名・代表者名・タイトル名	
	A3	A3
	A3	A3
↓	パネルに貼れる範囲で展示してもよろしいです。	

\*左上のNo（10cm×10cm）はこちらでご準備致します。

# I. 一般演題

座長：西条中央病院

相澤 淳一

森賀 千夏

- ① 当院における膝疾患に対するクリニカルパスの使用状況と電子カルテ化に向けて  
松山市民病院 森本 麻里
- ② 当院における電子パスの現状と今後の展望  
十全総合病院 宮原 常子、酒井 由起子、八木 やよい
- ③ 気管支ファイバー検査パスを電子化して  
松山赤十字病院 兼松 貴則、横山 秀樹、宮崎 さやか、広瀬 純子
- ④ 当院における小児科パスの電子化導入の取組み  
西条中央病院 中山 亜里美
- ⑤ 当院における脳卒中地域連携パスの運用の実際  
愛媛大学医学部附属病院 井上 美紀、上原 雅代

演題 当院における膝疾患に対するクリニカルパスの使用状況と電子カルテ化に向けて

松山市民病院 森本麻里

当院では、平成 21 年度よりクリニカルパス委員会を設立し、院内でのクリニカルパスの作成、活用の推進を行ってきた。現在整形外科では、9 種類のクリニカルパスを作成し運用している。今回、平成 26 年度より電子カルテ導入開始となるため、使用頻度が高く年齢層の広い膝疾患のクリニカルパスに焦点をあて、バリエーション評価、分析を行い、電子カルテ導入に向けての課題を検討したので報告する。

## 演題 当院における電子パスの現状と今後の展望

十全総合病院 看護部 宮原常子 酒井由起子 八木やよい

当院は、クリニカルパス委員会が中心となり、がんの地域連携パスの作成や、DPC導入に伴う紙パスの見直しを行い、約50件のパスを運用している。平成15年より、電子カルテを導入しているが、電子パスに完全移行できず、現在電子パスと紙パスが混在しているのが課題となっている。昨年度電子パスの運用の見直しを行い、現在移行中である。今回その取り組みの現状と課題、今後の展望について報告する。

## 演題 気管支ファイバー検査パスを電子化して

松山赤十字病院 呼吸器センター 兼松貴則、横山秀樹、宮崎さやか、廣瀬純子

電子カルテ導入に伴い、それまで紙ベースで行われていた気管支ファイバー検査パスを電子化した。約 2 か月前より CP メーカーというソフトを用い、検査・診療事項の入力を医師が、指示・看護部門の入力を看護師が担当し入力した。運用 1 週間前にすり合わせを行った。実際の運用や改善点も含め報告する。

## 演題 当院における小児科パスの電子化導入の取組み

西条中央病院 中山亜里美

当院は西条市で唯一小児科入院施設を有する病院である。

呼吸器疾患、胃腸炎などの消化器疾患が入院の大半を占め、呼吸器疾患、消化器疾患はクリニカルパスを作成し使用している。

平成 25 年 4 月より電子カルテ導入となり、パスも電子化した。

症状や状態により在院日数が変動するため、フレキシブルなパスを作成し使用を試みたが、逸脱するが多かったためフレキシブルパスは中止し改善を加えた。

当院小児科パスの電子化に伴う工夫や改善点について報告する。

## 演題 当院における愛媛脳卒中地域連携パスの運用の実際

愛媛大学医学部附属病院

井上美紀 上原雅代

当院では、平成 21 年度より愛媛脳卒中地域連携パスの電子カルテシステム上での運用を開始した。電子化により他職種合同カンファレンスで同時に評価できるようになり、現在は 9 施設と連携し運用している。今後の課題としては、パスが連携病院でどのように活用されているか現状の把握ができていないことと、患者・家族を巻き込んだパスの運用ができていないかの評価を行うことである。

## Ⅱ. シンポジウム

テーマ：『クリニカルパスの電子化ーその問題点と工夫ー』

座長：四国がんセンター

河村 進

西条中央病院

小野 仁志

① クリニカルパスの電子化に向けた取組みと今後の課題

松山赤十字病院 徳岡 梨沙、横山 幹文、本田 直利、井伊 貴子

② 当院が電子カルテを導入するも電子パスを諦めた理由

済生会西条病院 秋山 直美、石井 博

③ 当院の電子パスの移行経験～それでも僕らは電子化する～

西条中央病院 相澤 淳一

## 特別発言

『電子パスはセカンドステージへ突入！』

四国がんセンター 形成外科部長 河村 進

## クリニカルパスの電子化に向けた取組みと今後の課題

松山赤十字病院 産婦人科病棟 徳岡梨沙、横山幹文、本田直利、井伊貴子

平成 15 年からクリニカルパスを導入し、現在 19 件のパス登録をしている。婦人科パス 7 件の使用率は 99.8%、バリエーション発生率は 14%、バリエーションの要因は患者都合によるものが 80%であった。

平成 25 年 1 月の電子カルテ導入と同時に電子パスの運用を開始した。電子パス運用後の状況を報告し、今後の課題について述べる。

## 当院が電子カルテを導入するも電子パスを諦めた理由

済生会西条病院 秋山直美（クリニカルパス副委員長、看護師）

石井 博（クリニカルパス委員長、外科医師）

当院は平成 21 年 2 月から日本事務器 Mega-Oak HR の電子カルテ、オーダリングシステムを導入した。導入時の混乱を避けるためシステムに付属していた電子パスの導入は見送り、紙パスで運用した。システムが安定した 1 年半後に電子パスの導入を試みたが、1) パスの指示内容はオーダリングセット項目で運用が可能であり、電子パスでは逆に指示できる範囲が少ない、2) オーダリングセット項目とは異なり、電子パスでは種々の指示が簡単に日程移動が可能となり、パスと異なる運用がなされる可能性がある、3) 手術設定日からの運用しかできず、入院日からの運用ができない、4) アウトカムマスターの作成が必要である、5) リハビリテーションのユニットパスの運用ができない、のため導入を諦め、現在も紙パスにて運用中である。

## 当院の電子パス移行経験 ～それでもボクらは電子化する～

西条中央病院 相澤淳一

当院では H25 年 4 月に紙カルテから電子カルテ（富士通 EGMAIN-LX）へ移行された際に、使用されていたクリニカルパスを全て電子化した。

準備段階で苦労した点、システム上切り捨てた要素、実際に始動してから直面した問題等があり院内で調整を重ねた。

これら得られた様々な経験を県内のクリニカルパスに携わる皆様と共有できればと考え、多少偏った内容になるかもしれないが報告させていただく。

### Ⅲ.特別講演

座長：西条中央病院 副院長 小野 仁志

『電子カルテと電子クリニカルパス

—導入・運用・改訂の問題点と対策—

』

演者：総合病院国保旭中央病院 TQM センター クリニカルパス委員会

松永 高志

## 電子カルテと電子クリニカルパス —導入・運用・改訂の問題点と対策—

総合病院国保旭中央病院 TQMセンター クリニカルパス委員会  
松永高志

【はじめに】電子カルテの功罪、電子クリニカルパス（以下電子パスと略す）の長所・短所はすでに多くの先生方が論じられ、また現場でも日々の業務の中で直面していることです。今回は主に当院での経験から、私なりに電子カルテの導入・パスの移行から改訂までを段階的に考えていきたいと思います。一つでもお役にたてば幸いです。

【電子カルテの導入】電子カルテ選定・導入には膨大なマンパワーと時間、莫大な費用を必要とするので決して失敗したくない（失敗できない）課題です。最初の作業はベンダーの選定ですが、現在では各ベンダーのプレゼンテーションに大きな差はないので選択は難しく、十分に検討して導入した病院から後悔の言葉を聞くことも稀ではありません。難しさの要因は、概論を説明する営業者と実務を担当するSEとの較差、カスタマイズの選択、病院間の違い、医療という領域の特異な世界観（？）と一般社会の違いなど様々です。対策の決定版はありませんが、最終候補を絞った後は可能な限り候補ベンダーの電子カルテを導入している病院と連絡を取り、現場の声を参考にするのがよいかと思います。ベンダー決定後はSEとともにマスター作りなどの作業が待っています。パス以外にも多くの部会やWGが作っての活動になりますが、全体を統括する部署をしっかりとさせないと「レジメンではできるのにパスではできない」、「パス上で注射がうまく動かない」などの不具合の元になります。他の部会との情報交換も密にしてください。

【電子パスの作成】これについては「クリニカルパス実践テキスト」（日本クリニカルパス学会監修；名著！）を参考にしてください。電子パス導入の速度は様々で、短期に全紙パスを電子化した病院もあり、主要パス10～20をまず改訂し段階的に進める病院もあります。この点は病院の規模やパスの数、ベンダーとの信頼関係などが関与するので正解はないと思います。当院はまず1パスの電子化を行い（信頼関係？）、不具合を修正しながらゆっくり増やしたので電子パス率>50%までずいぶん時間がかかりました。電子パスへの移行の段階でアウトカムマスター、バリエンスマスターの作成という大きな作業があり、個々の紙パスはアウトカムや介入・観察などの直しが求められます。ここは大きな正念場で、電子カルテは動いても電子パスが進まないことにもなりかねません。でもここはパスをもう一度理解しなおすチャンスと捉えて、委員会と現場の協力で突破したい課題です。電子カルテとパスは本来相性の良い組み合わせですから、成功の道はあるはずと信じて頑張りましょう。もちろんEBMの展開など医師の協力・リーダーシップは不可欠です、まずひとり確保しましょう。

【電子パスの運用】電子カルテも電子パスも慣れるまでは使いにくさばかりが目立つものです。せっかく徹夜して電子化したパスが「使えないね」と言われては泣くに泣けません。運用開始時はスタッフへの周知をし、操作講習などベンダー・委員会共同で行うことが大事です。病院の実情に合わせたわかりやすい操作マニュアルなども助けになります。運用開始後に不具合が多く出るとはベンダーの負担増加でもあるので協力は得られます。運用がうまくいっていれば現場のパス理解が向上したと、つまずいていけば悩むのは電子カルテとパスの本質がわかってきた証拠と、いずれにしてもダメだしせずに誉めて育てていくのがよいように思います。

【改訂】電子カルテは数年で改訂が必要になり、かなりの費用がかかります。運用後もパスを含めマイナーチェンジはしていると思いますが、改訂前はこれまでのシステムへの不満を解消するチャンス（ある意味ピンチ）です。そのためにも電子パス運用後は問題点を書き留めておき、時にはアンケート調査などをして、チャンスを活かして電子カルテ・パスのグレードアップが図れるよう準備をしておけるとよいでしょう。

大きな改訂で重要なことは、これまでのデータ、履歴が担保され、新システムでも不足なく稼働することで、この点はベンダーとの調整が必要です。ベンダーの変更は、私自身経験がありませんが、やはり変更前の電子カルテ内容の担保、展開可能かどうかなど、多くの問題がまだ解決していないと聞いています。ベンダー変更は決意を持って判断する必要があるかと思います。

【おわりに】以上、持論というほどのものはないので経験などをまとめました。8月3日は電子パス成功の「真夏の方程式」が提示できるよう、もうひと頑張りします。

愛媛クリニカルパス研究会 世話人施設（順不同）

No.	世話人施設名	〒	住所	TEL	FAX
1	松山赤十字病院	790-8524	松山市文京町1番地	089-924-1111	089-922-6892
2	愛媛県立中央病院	790-0024	松山市春日町83	089-947-1111	089-943-4136
3	道後温泉病院	790-0858	松山市道後姫塚乙21-21	089-933-5131	089-933-5137
4	済生会今治病院	799-1502	今治市喜田村7丁目1-6	0898-47-2500	0898-48-5096
5	宇和島社会保険病院	798-0053	宇和島市賀古町2丁目1-37	0895-22-5616	0895-24-5838
6	住友別子病院	792-8543	新居浜市王子町3-1	0897-37-7111	0897-37-7121
7	済生会西条病院	793-0027	西条市朔日市字榎ヶ坪269-1	0897-55-5100	0897-55-6766
8	三島医療センター	799-0422	四国中央市中之庄町1684-2	0896-23-3345	0896-24-7741
9	愛媛県立南宇和病院	798-4131	南宇和郡愛南町城辺甲2433-1	0895-72-1231	0895-72-5552
10	愛媛大学医学部附属病院	791-0295	東温市志津川454	089-964-5111	089-960-5131
11	愛媛病院	791-0281	東温市横河原366	089-964-2411	089-964-0251
12	市立八幡浜総合病院	796-8502	八幡浜市大字大平1番耕地638	0894-22-3211	0894-24-2563
13	市立宇和島病院	798-8510	宇和島市御殿町1-1	0895-25-1111	0895-25-5334
14	十全総合病院	792-8586	新居浜市北新町1-5	0897-33-1818	0897-37-2124
15	西条中央病院	793-0027	西条市朔日市804	0897-56-0300	0897-56-0301
16	愛媛県立新居浜病院	792-0042	新居浜市本郷3丁目1-1	0897-43-6161	0897-41-2900
17	HITO病院	799-0121	四国中央市上分町732-1	0896-58-2222	0896-58-2223
18	愛媛労災病院	792-8550	新居浜市南小松原町13-27	0897-33-6191	0897-33-6169
19	愛媛県立今治病院	794-0006	今治市石井町4丁目5-5	0898-32-7111	0898-22-1398
20	済生会松山病院	791-8026	松山市山西町880-2	089-951-6111	089-953-3806
21	松山市民病院	790-0067	松山市大手町2丁目6-5	089-943-1151	089-947-0026
22	四国がんセンター	791-0280	松山市南梅本町甲160	089-999-1111	089-999-1100

# 愛媛クリニカルパス研究会会則

## 第1条（名称）

本会は愛媛クリニカルパス研究会と称する。

## 第2条（目的）

本会はクリニカルパスを使用した医療、つまり EBM を取り入れた医療の標準化、チーム医療、患者様中心の医療の実施を普及、啓発を目的とするものである。

## 第3条（構成）

1. 会員：原則として愛媛県内の医療従事者で本会の目的に賛同するものとする。
2. 世話人：会員の中から若干名の世話人を選出し、その中から代表世話人を選出する。
3. 会計監事：世話人の中から選出する。

## 第4条（事業および運営）

1. 研究会などの開催：本会の目的を達成するために原則として年2回の研究会および本会が必要と認める事業を開催する。
2. 世話人会：世話人会を南予、中予、東予の3ブロック構成で組織し、本会の運営にあたる。
3. 当番世話人：本会開催のための当番世話人は3ブロックの持ち回りとする
4. 会の開催にあたっては各ブロック内で決定した施設が行う。
5. 会計監事：本会の財務を監査するものとする。
6. 主旨に賛同する、団体、企業との共催は、世話人会の承認を得て、開催する事ができる。

## 第5条（事務局）

本研究会の事務局は独立行政法人国立病院機構四国がんセンターに置く。  
事務局は世話人会の決定で変更できる。  
会計は事務局が代行する。

## 第6条（参加費）

会への参加者は参加費として1,000円を納める。  
参加費は会場費、通信費などに使用するものとする。

## 第7条（会則改正）

本会則の変更、会計監事の変更、事務局の変更、世話人の変更・追加は世話人会の決定で行うことができる。

## 付則

本会則は2004年3月20日より施行する

改訂：2009年7月